

(A5) Session5 : 大槻

- (1) トークテーマタイトル：知働化時代の思考の技法
知働化時代向け『思考の技法』という知のパラダイム
- (2) トーク者の氏名、所属（公開用）
大槻 繁
株式会社ー（いち）；Symposium 2025 プログラム委員長
- (3) トーク内容（100文字以内）
知働化の時代の哲学（新実在論）と、デザイン、システム、
ソフトウェア学の新たなアプローチ、「目的ファースト」
「抽象化」「コミュニケーション」といった核心概念の紹介。
- (4) トーク＋討論　にかかる時間
60分（トーク：40分、討論：20分、を想定）

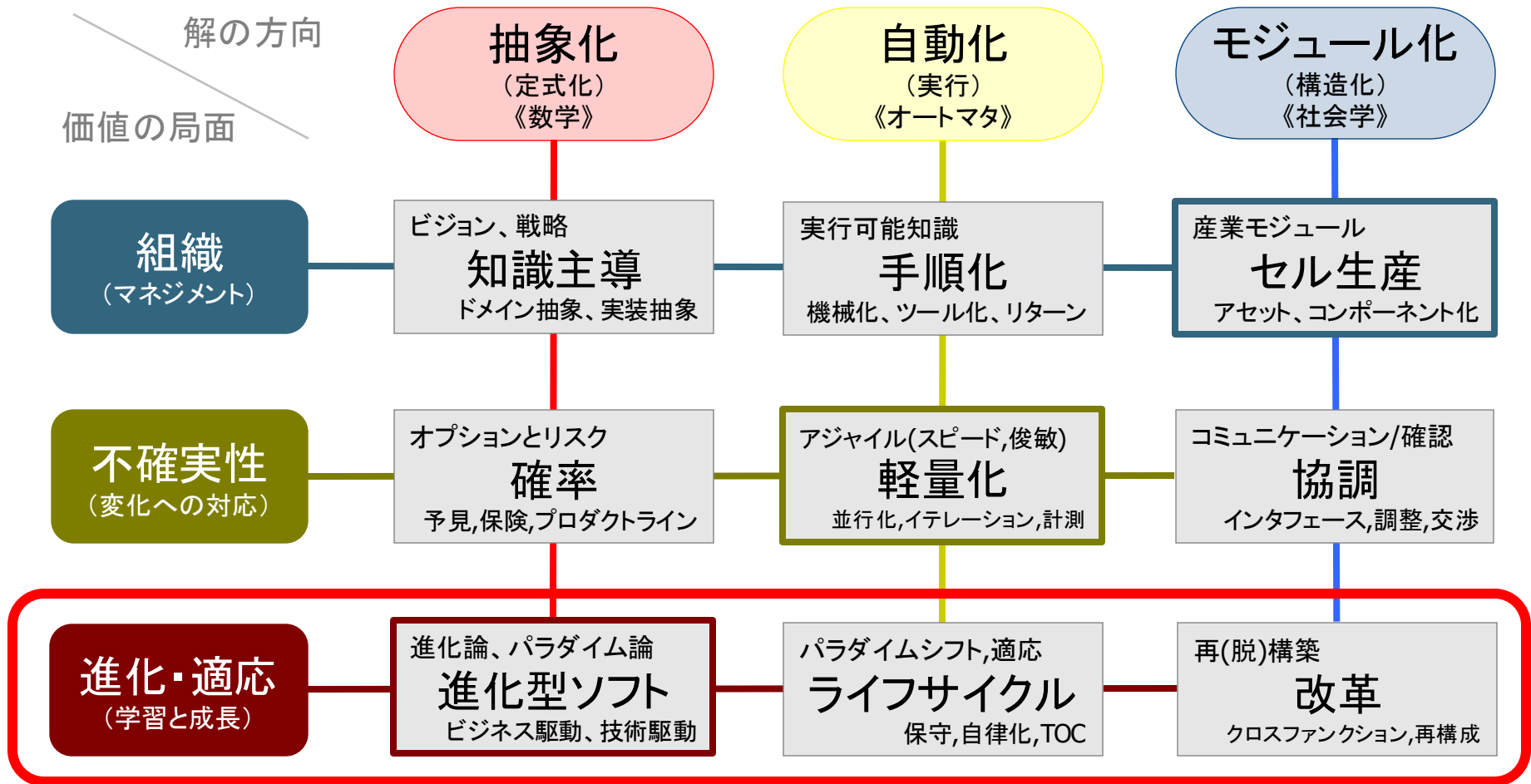
備考：参考サイト

https://note.com/ichi_s_otsuki/m/m17764f719b70

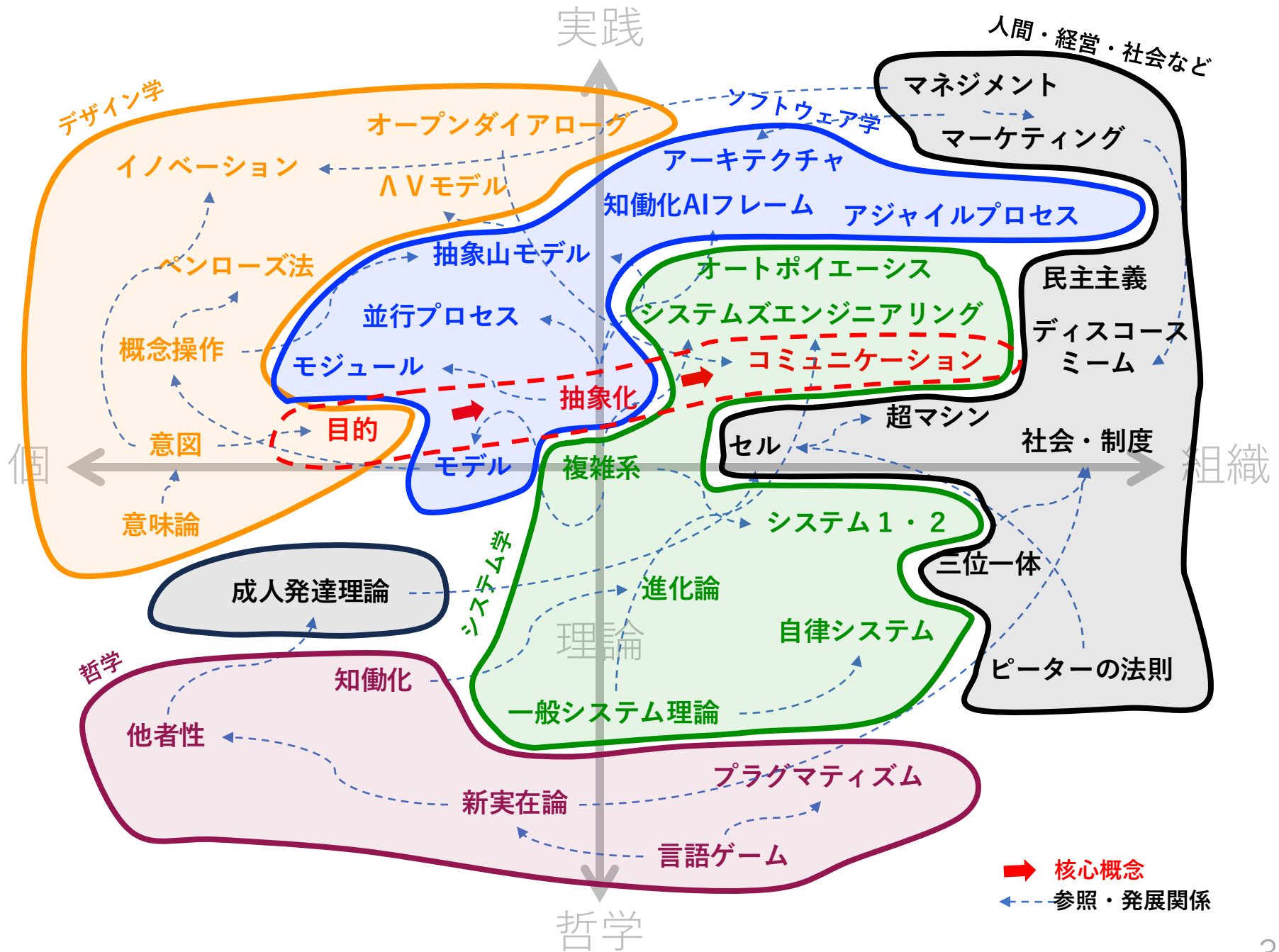
https://note.com/ichi_s_otsuki/n/n67e7f7749705

ソフトウェアが生み出す価値と それを生み出す方法(解)との関係

価値と解のマトリクス



ベースラインとしての組織（マネジメント）に始まり、アジャイルプロセスでは不確実性・変化への対応、そして、次に、進化・適応の方法に向かっています。



思考の技法の哲学の位置づけ

